

授業科目 メディア論

【担当教員名】 後藤 康志	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健康・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現

【概要・一般目標：GI0】  
新潟ローカル放送では「アルビレックス勝利」と報じられる試合結果が、なぜ全国放送になると「浦和破れる」になるのか。イラク戦争において、カタールのアルジャジーラが欧米の報道機関は決して報じなかった傷ついた米兵の姿を報じたのはなぜか。新聞、テレビ、インターネットなど、身の回りの様々なメディアは、送り手によって構成された表現である。テレビは「ドラえものどこでもドア」ではなく、ディレクターによって切り取られた「窓」でしかない。メディアから送られる情報は、その情報を見せることで、他の情報を見えないようにする機能をもっている。身近なメディアから、メディアとのつきあい方について検討する。

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. メディアは、送り手の意図によって構成されている事を知る。
  2. 文字メディアによる表現から、送り手の意図について検討する。
  3. 映像メディアによる表現から、送り手の意図について検討する。
  4. デジタルメディアによる表現から、送り手の意図について検討する。
  5. デジタルメディア表現から、送り手と受け手について理解する。
  6. クリティカルシンキングについて検討する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1	講義
2	文字メディアとのつきあいを考える（1）：「アルビ勝利」か「浦和破れる」か	2	講義・演習
3	文字メディアとのつきあいを考える（2）：地方紙と全国紙を比べてみれば1.	2	講義・演習
4	文字メディアとのつきあいを考える（3）：地方紙と全国紙を比べてみれば1.	2	講義・演習
5	映像メディアとのつきあいを考える（1）：本場のパスタは、木になるのか？	3	講義・演習
6	映像メディアとのつきあいを考える（2）：テレビが間違った日・松本サリン事件	3	講義・演習
7	映像メディアとのつきあいを考える（3）：ケネディ VS ニクソン テレビと大統領選	3	講義・演習
8	映像メディアとのつきあいを考える（3）：160円のお茶を売るためのCM	3	講義・演習
9	デジタルメディアとのつきあいを考える（1）：“危ない”ホームページとは	4	講義・演習
10	デジタルメディアとのつきあいを考える（2）：“危ない”ホームページを見極める	4	講義・演習
11	デジタルメディアとのつきあいを考える（3）：“優良”ホームページを見極める	4	講義・演習
12	メディアで表現する（1）：Youtubeはテレビを超えたか1.	5	講義・演習
13	メディアで表現する（2）：Youtubeはテレビを超えたか2.	5	講義・演習
14	メディアとのつきあいを考える：クリティカルシンキングとは何か	1, 6	講義・演習
15	まとめ	1, 6	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席、課題レポートにより評価します。	【履修上の留意点】 講義だけではなく、ネットワークや図書等を使って解決する課題レポートを提出することを求めます。
------------------------------	---